



地域おこし協力隊って？

都心部から人口減少や少子高齢化などの課題を抱える地方へ移住し、地域の新たな担い手として農業・事業承継・情報発信などの「地域協力活動」を行いながら、地方への定住を目指す取り組みです。任期はおおむね1～3年。小坂町では現在3名の隊員（猪野直子、齋藤慶顕、田代俊之）が活動しています。最近の活動内容を紹介いたします！

◆「小坂・鉄道まつり 2025」

10月12、13日、小坂鉄道レールパークで「小坂・鉄道まつり 2025」が開催されました。初日はあいにくの雨となりましたが、両日共家族連れなど多くの来場者で賑わいました。

今年の鉄道まつりでは、協力隊の田代俊之さんの企画による「小坂鉱山鉄道鍋」が初披露！ 11時と12時半の1日2回、桃豚など小坂町の食材を使い、鉄道鍋で仕上げた豚汁が約50食分ずつ用意され、2日間共無事完売しました！

鉄道鍋で熱々に温められた豚汁は来場者のみなさんからも大好評。かつてスペインの鉱山鉄道の蒸気機関車内で機関士や車掌さんたちの食事を調理していたという伝統の鍋が、遙か遠い日本の元鉱山町で活躍する姿はとても感慨深かったです。

「鉄道鍋って何？」とスペインの鉱山町グアルド市の鉄道鍋を紹介するパネル展示を熱心にご覧くださいる方も多くいらっしゃいました。

ご来場、どうもありがとうございました！



炭火の火力調整に苦労しつつも…
「みんなのお店わいわい」さん特製、小坂町食材の豚汁が美味しく仕上がりました！



7月から塗裝修繕作業中のキハ2101



小坂町内外からの多くのお客様で大賑わい



「アツアツ」「美味しいよ！」

◆秋田県地域おこし協力隊研修会

秋田県地域おこし協力隊ネットワーク主催の「第3回秋田県地域おこし協力隊研修会」に協力隊の猪野直子が参加いたしました。研修会は年に4回開催されていて、第3回目は三種町でのフィールドワーク。三種町で活動する現役・OBの協力隊員から、活動内容や起業の経緯などを、現地の見学と共に詳しくお話しいただきました。

今回紹介されたのは、YouTubeチャンネル「みたねのむすびch」やじゅんさい沼、イベント「種の市」、カフェ「結いの里 がつふえ」、クアオルト事業（自然環境を活かした健康づくり。秋田犬も活躍！）等々の企画の経緯や運営状況など。さまざまな分野で地域の住民と協力隊員たちが交流しながら、共に地域の未来を考える場を創り上げていっている様子がよくわかりました。



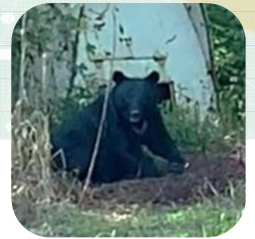
みたねの石窯「ピエーノディソーレ」での事例報告



旧診療所を活用した「結いの里 がつふえ」前で

◆小坂七滝ワイナリー周辺の生きものたち

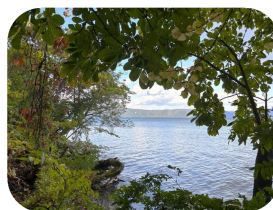
小坂町では至るところで野生の生きものたちを見かけます。「小坂七滝ワイナリー」周辺の藤原地区でも、様々な種類の動物に会うことができます。協力隊の齋藤慶顕さんによると、最も多いのはタヌキやアナグマで、毎日のようにワイナリーの畑に現れるとのこと。その他、イタチやテン、ネズミ、キツネなどの姿を見ることも。そして、やはりツキノワグマも…。残念ながら齋藤さんは10月いっぱい小坂町を離れることになりましたが、生きものや緑が豊かな小坂町の自然が大好きだったと話されていました。



齋藤さん撮影「彼らの姿に癒されていました！」

◆協力隊 Instagram やってます！

地域おこし協力隊員が日々の活動などについて不定期で投稿しておりますので、こちらもぜひご覧ください。



「小坂町地域おこし協力隊かわら版」はおおむね毎月10～15日ごろにゆるく発行予定です。みなさんの小坂町での暮らしや取り組み、イベントなどの情報をお知らせください！

編集・発行 小坂町総務課企画財政班（地域おこし協力隊 猪野） 0186-29-3907